令和６年度元気シニア活躍推進モデル事業

活動事例集

生涯現役シニア応援センター ぷらっと

令和７年３月

はじめに

とちぎ生涯現役シニア応援センター「ぷらっと」（栃木県老人クラブ連合会）は、栃木県からの委託により、シニアが身近な地域で継続的に社会参加することができる環境づくりのため、老人クラブ活動を主体とした社会貢献活動等をモデル事業として実施してまいりました。

活動の進め方や課題解決の方法を検証するとともに、その情報を各地域で共有することにより、活動の横展開を図るため、この度、モデルクラブとして活動してきた各団体の活動内容を紹介する「令和6年度元気シニア活躍推進モデル事業活動事例集」を、昨年度に引き続き作成しました。

この事例集が県内各地で活動に取り組まれている方や、これから、新たに取り組んでいこうと考えている方にとって、今後の活動の一助となれば幸いです。

令和7年3月

とちぎ
生涯現役シニア
応援センター
ぷらっと

1.【目次】

＜令和5年度採択事業＞の〝成果報告等〟
□ 清掃活動・きずなづくり　３ページ
□ 健康づくり・仲間づくり　９ページ
□ 世代間交流・地域再発見　15ページ

＜令和4年度採択事業＞の〝トピック〟
□ 高齢者福祉・健康づくり　23ページ
□ 地域交流・担い手づくり　25ページ
□ 居場所づくり・地域交流　27ページ
□ 伝統文化継承・地域づくり　29ページ
□ 世代間交流復活・地域貢献　31ページ

2.【事例集について】

モデル事業補助金を活用して単位クラブが実施した事業を対象に、事業概要や活動に対する考え方、実働に向けた取り組み方を記載し、類似の活動を行う場合の計画の立て方、推進するうえで気を付けるべき点などを、参考にしていただくことを目的としています。

掲載したモデル事業は、いずれも実施主体によって意欲的に取り組まれているものですが、必ずしも成功事例として取り上げたものではなく、取り組んだ活動環境によって、克服すべき課題や成果、効果を生む工夫も異なることに留意しつつご覧願います。

3.【事例集の構成】

事例集は各２ページで以下のような構成となっています。

<table>
<tr><td>①申請団体名</td><td></td><td>②分野</td><td></td><td rowspan="3">⑨事業の成果と効果</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>③事業名称</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>④事業概要</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>⑤事業目的</td><td colspan="3"></td><td rowspan="2">⑩今後の展開・課題
（Next Step）</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>⑥事業目標</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>⑦事業の方向性</td><td colspan="3"></td><td rowspan="2">⑪ここがポイント!</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>⑧事業の実行計画</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

①	申請団体名	単位クラブ名を記載しています。
②	分野	各単位クラブが設定した分野を記載しています。
③	事業名称	事業の名称を記載しています。
④	事業概要	事業の背景や経緯を記載しています。
⑤	事業目的	事業の目的やビジョンを記載しています。
⑥	事業目標	事業目的を達成するために具体的に設定した指標を記載しています。
⑦	事業の方向性	目的の達成に沿ってどのような方向性で取り組んだのかを記載しています。
⑧	事業の実行計画 ・期間（いつまでに） ・対象（何を） ・役割（誰が） ・展開（どのように） ・評価指標（できたかどうか）	事業の方向性に基づいて目標を達成するために取った具体的な計画を記載しています。 ・取り組む期間や期限（いつからいつまでの間で行ったか記載しています。） ・どのような層（事）に向けて取り組んだのか（設定した関係者を記載しています。） ・施策における細かな役割（誰が・なにを・誰に・どのように行ったか等を記載しています。） ・施策ごとの展開（どのように展開したか記載しています） ・現状把握としてモニタリングすべき施策レベルでの評価指標を記載しています。
⑨	事業の成果と効果	成果（直接的な良い結果）、効果（間接的な良い結果）を記載しています。
⑩	今後の展開・課題（Next Step）	当事業に隣接する事業への着手・展開・推進方法を記載しています。
⑪	ここがポイント ！	事業全体における重要なポイントを記載しています。

令和5年度採択事業
（活動期間：令和5年～令和6年）

清掃活動・きずなづくり

発表内容のまとめ

静寿会（栃木市）

事業名	環境美化から始めるマインド・リセット! -静和川流域連携キャラバン-　＜Change mind set project＞
実施背景	家族や地縁で行われていた 支え合い活動が難しくなっている状況がある
実施目的	流域連携による清掃活動を通じた 顔が見える関係づくり
実施方法	月に一度数百メートルずつ地区を流れる静和川と江川 流域の美化活動を行いながら、渡良瀬遊水地を目指す
実施結果	地区の複数の団体や企業及び、隣接する藤岡町の自治会の 協力も得て、多様な人がつながる有機的な組織活動に発展
考 察	地域の課題・問題に取組むためには、 周囲を巻き込んで、一緒に活動を始めてみることが大切
結 論	・共有しやすく「メッセージ性の高い目標」をかかげることができた ・一緒に川の清掃をすることで多くの人との「つながり」ができた ・多様な団体や企業と連携・協働ができる「ネットワーク」ができた

①申請団体名	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会 岩舟支部　静寿会	②分野	清掃活動 きずなづくり

③事業名称	〝環境美化から始めるマインド・リセット!〟 -静和川流域連携キャラバン- ＜Change　mind set　project＞

④事業概要	【地区を流れる静和川流域の環境美化活動と地域再生】 ・月に一度、下流に数百メートルずつ場所を移しながら実施 ・２年かけて約９キロ先の渡良瀬遊水地を目指す ・実施場所周辺の自治会や企業などにも、その都度参加を呼びかける -　流域一体の連携や地域のつながりの再生を目指す　-

⑤事業目的	【流域連携による清掃活動を通じた顔が見える関係づくり】 環境美化は、環境を美化することに加え、自分たちの生き方も大きく左右する活動と位置づけ、環境美化という見える変化を通して、ポストコロナの中で顔の見える地域を活動を通して創り出す

⑥事業目標	【定量目標】 ・流域での活動 ⇒ 1回/月 ・渡良瀬遊水地での活動 ⇒ 年1回 ・回収ゴミの量/景観変化	【定性目標】 -活動が及ぼす参加者の変化を追跡調査- 活動の場を通して、参加者が地域への考え方も変化させる過程を、アンケートを基に変容の推移を実施前後で確認する

⑦事業の方向性	【この活動は、流域の多くの関係者の協力を得て初めて実施できる活動】 地域社会が衰退する成立過程に影響を与えている地域に暮らす人々の思想・考え方と、 まずは実働を通しながら向き合うことから取り組み、ともに実践活動を行う中で、 これからの望ましい地域の在り方や、それを支える思想・考え方を深める

⑧事業の実行計画	下記（いつまでに・なにを・誰が・どのように）の役割担当を決め、 週一で進捗状況を全員で共有し、問題点を解消する対応を取る 【いつまでに・なにを・誰が・どのように】 ・年間活動スケジュール（実施日・時間・実施地区・区間等）を、開始の２か月前迄に設定 ・年間告知スケジュール（告知日・告知方法・告知エリア等）を、開始の２か月前迄に設定 ・流域の単位クラブ、団体への参加依頼（説明会、個別訪問）を、実施の２か月前迄に行う ・自治体に環境美化活動の支援を、書面を作成したうえで開始の２か月前迄に行う 【現状把握すべき評価指標】 ・流域での継続的な活動　月１回　年１２回　/　渡良瀬遊水地での活動　年1回

⑨事業の成果と効果

【事業の成果】

※期間：令和5年10月～令和7年3月

指標名	目標	実績	達成率
流域での活動回数	18回	18回	100%

＜参考＞渡良瀬遊水地につながる静和川と江川での18回の活動に、流域（岩舟地区、藤岡地区）のシニアクラブ、自治会、企業、自治体、その他関係機関等から延べ400名以上の参加があった

【事業の効果】

1 活動に参加したきっかけ	静寿会からの呼びかけ	自治会等からの呼びかけ	友人・知人から誘われて	新聞・広報紙CATVを見て	その他
	20	16	1	1	5

2 活動に参加した動機	地域に役立ちたい	経験等を活かしたい	生きがいを発見したい	活動に興味があった	その他
	26	0	0	8	8

3 活動の良い点	社会の見方が変わった	地域活動への理解が深まった	生きがいを感じる	新しい経験が身についた	その他
	4	23	1	7	8

N=45

＜参考＞活動に参加した人々は、地域愛や誇りを感じており、今後も参加を継続したいという意向が示された

⑩今後の展開と課題（Next Step）

【今後の展開】
- 地元企業、自治会と連携した活動を継続し、参加者の確保を行う
- 特に、現在参加している人よりも若い人の参加を呼びかける
- 見学会を兼ねた環境イベント等の開催を通し、参加者を増やす

【課題】
- 活動参加に対する「自主性の尊重」と「新たな協働領域創造」のバランス
- 地域の理解度を増すための活動の「社会的価値」・「社会的意義」の発信方法
- 持続可能な活動とするための多様な主体との連携方法

静和川流域連携キャラバンは、流域の多くの方の協力を得て初めて実施できる活動
自分にとって大切な人との関係はどう創っていくのか？
人との関係はどう創り出すべきなのか？

今後も、地域の中で生きていく上で一番難しい問題に、日々真っ向から取組んでいく
美化活動よりもむしろそこに本質があると思う位に、正面から地域にタックルしていくこと自体に意義があるように感じている
このことが、活動の足腰を強める基盤となってきたと強く感じている

⑪ここがポイント!

－　地域の課題・問題に共同で取り組むために　－

【開始時】
- 共有しやすくメッセージ性の高い目標（川を綺麗にして渡良瀬遊水地まで行く）が持てた
- 実際にゴミを拾うことで、環境保護活動へ参加している満足感や連帯感が得られた

【展開時】
- ゴミの処理等、地元自治体をはじめとする、行政との連携が取れた
- 実施主体を複数の団体の連携の上に成り立たせられた

【拡散時】
- 地域の協力も得て有機的な組織活動に発展させられた
- 多機関と連携、協働し必要な行動や人財、ネットワークなどの社会資源を創り出せた

【活動の基本】
地域には何が必要かとともに、どのような人が必要か、この事に真剣に取組み、社会課題解決に向けた基盤や仕組みづくりに、自らの活動を活かすこと

令和5年度　静寿会　活動写真

時にはロープを使って・川へ入ります・やります！

川の中に・発電機・３台も！

-活動前-　ゴミによるよどみが発生！

-活動後-　よどみは解消！

チェンソーで・倒木も撤去します！

切り株は・力を合わせて・引き揚げます！

令和６年度　静寿会　活動写真

4月度　菜の花の咲く傾斜地で！

5月度　静和川の１クールを終了して！

７月度　江川清掃開始　ここから藤岡地区

8月度　藤岡地区では女性の方も参加

10月度　藤岡町　赤間地区

１月度　栃木市の協力で土砂だまりを撤去

令和5年度採択事業
（活動期間：令和5年～令和6年）

健康づくり・仲間づくり

発表内容のまとめ

箱森東部シニアクラブ（栃木市）

事業名	R60　みんなが学んで・体験して・教えて、地域で活躍! －eスポーツがつくる小地域ネットワーク活動!!－
実施背景	新しいことに挑戦し、日常の生活に変化と刺激を 生み出し、新規会員獲得の魅力づくりとしたい
実施目的	活動の魅力づくりによる 引きこもり防止とフレイル・認知症予防
実施方法	自治会公民館を会場とし 毎週曜日を決めてeスポーツを開催
実施結果	会員の反響は高く、 ６０～７０代の６人が新規会員として加入
考 察	会員の幅広い興味を 刺激するには新たな試みが必要
結 論	・今後もクラブの活気で幅広い世代間交流を実施したい ・最初は全てが難しかったが、やってみたらできるようになった ・アプリの選定も重要なポイント

①申請団体名	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会 栃木支部　箱森東部シニアクラブ	②分野	健康づくり 仲間づくり

③事業名称	R60　みんなが学んで・体験して・教えて、地域で活躍! －eスポーツがつくる小地域ネットワーク活動!!　－
④事業概要	【eスポーツを高齢者の心身の機能維持に活用する取り組み】 ・自治会公民館を会場とし毎週曜日を決めてeスポーツを開催 ・新しいことに挑戦することは日常の生活に変化と刺激を生み、 継続参加へのモチベーションを高める ・自分たち（会員）で始めて、習得して、他の団体（学童クラブ・他のシニアクラブ・ 高齢者施設等）にも広め、小地域のネットワークづくりも試みる
⑤事業目的	【eスポーツを使用したつながりで健康志向の場づくりと社会的孤立の防止】 ・高齢化するシニアクラブ活動への新たな魅力づくりと、フレイル・認知症予防 ・高齢者の引きこもり予防 ・ゲームをする事が家族内で子や孫との話題になり、会話が一層充実することも期待
⑥事業目標	【定量目標】 ・ｅスポーツ　開催回数 （１回以上/週） ・地域への活動内容の発信 （自治会回覧板での掲載） ・シニアクラブ員の新規加入促進 【定性目標】 -活動が及ぼす参加者の変化を追跡調査- ・eスポーツ後の体力テスト等で改善効果の推移 を捉える ・他の団体との組織的推進も図り、小地域での ネットワークづくりも試みる
⑦事業の方向性	【＜単位クラブで始める＞ ⇒ ＜習得して地域に広める＞ ⇒ ＜広域で開催＞】 少子高齢化が進み、祭りなどへの参加者も減っている。高齢者が外に出るきっかけを増やすため、まずは単位クラブで始めて、自分たちで楽しめるようにし、自治会内地域に広める。その後、他の団体（学童クラブ・他のシニアクラブ・高齢者施設等）にも広め、小地域のネットワークづくりも試みる
⑧事業の実行計画	下記（いつまでに・なにを・誰が・どのように）の役割担当を決め、 全員で共有し、問題点を解消する対応を取る 【いつまでに・なにを・誰が・どのように】 ・クラブ内でスタートアップメンバーを募集し、決定する ・採用するアプリの選定　アプリごとのリーダーを決定する ・機器、アプリの購入　（アプリは数種類を採用する） ・クラブ内でデモンストレーションし、アプリごとのメンバーを決定する ・毎週開催した結果をスコアカードに記録し、年度末に集計する ・年に数回、参加者からの意見ミーティングを開催し、※必要な改変を行う ・以上の進捗を見て、自治会回覧文書等でシニアクラブ加入促進をＰＲする ・継続性を確保するため、ゲームごとの表彰制度を設ける ゲーム上達のための講習会やトレーニング等の企画も検討 ※地域の小学生を招待し、小学生を交えての競技イベントを開催する

⑨事業の成果と効果

【事業の成果】

【令和6年度】

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	活動に関わった団体・組織
定例開催（毎週 月・火）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	箱森東部シニアクラブ
e-スポーツデモンストレーション			○										協力会社様、箱森東部シニアクラブ
自治会はつらつの行事認定			○				○						自治会、栃木市包括支援センター、箱森東部シニアクラブ
単位クラブ交流					○	認知症予防チェック							静寿会、箱森東部シニアクラブ
新規会員＋3名以上			○	新規会員6名加入									箱森東部シニアクラブ

【事業の効果】

測定項目	単位	令和5年10月16日	令和6年10月28日	差異
TUG	秒	7.34	6.5	＋0.84
握力（右）	kg	22.79	19.95	－2.84
握力（左）	kg	22.12	21.06	－1.06
片足立位時間	秒	25.34	25.59	＋0.25
5ｍ歩行	m/秒	2.85	2.65	＋0.21
主観的健康感	－	2.56	3.23	＋0.67

・TUG（Timed Up & Go Test）⇒歩行能力や動的バランス、敏捷性などを総合的に判断する評価方法
※改善効果はモデル事業実施期間内の目標

⑩今後の展開と課題（Next Step）

【今後の展開】
- eスポーツの地元への親和性は高いため、波及を目的に声掛けの回数を多くする
- キーはeスポーツのスキルアップより、ヘルスケアの一環として取り組むこと
- 現状、公民館でのeスポ-ツ使用は会員限定だが、定期的な一般開放も計画する
- イベント開催時には初めて公民館を訪れた人もおり、交流の誘因を図る

【課題】
- 気兼ねなく誰でも来られる場所にし、「まるごと多世代の地域ステーション」として機能させる方法を見つけること
- 当クラブが中心となって誰でもeスポーツを通して交流ができるようにし、その中の選出メンバーが他地域とのリモート対戦選手として参加できる仕組みを作ること

※公民館がeスポーツをきっかけに「まるごと多世代地域ステーション」として気軽に来られるような場所になれば、そのつながりの中から支援が必要な人を相談支援につなげ、来られなくても必要であればいつでもつながることができる関係性が構築がされると考えている
今は「人と地域がかかわるきっかけ作り」を試みていくことが必要

⑪ここがポイント!

☆事業の開始時・展開時・拡散時に行うこと☆

【開始時】
- 自治会、地域との連携（公民館へのWi-Fi設置、モニターの設置等）が必要

【展開時】
- 実施時には同時に複数のゲームを展開するなどの賑わいも必要
- eスポーツを娯楽と捉える一方、高齢者のヘルスケア活用とする認識も広めることが良い

【拡散時】
- そのためには、エビデンスの蓄積とeスポーツをスポーツとして広める手段が必要
- 手段としてはeスポーツを行う別クラブ（遠隔地でも可）との対抗戦の早期開催

【活動の基本】
- eスポーツの参加率を高めるために、他の活動の参加率も高めておくことが基本となる

【IT機器への苦手意識解消のためのポイント】
- セッティング手順書や操作マニュアルはわかりやすく図にして配布する
- 手順書等は会員各位にもラミネートして渡し、会場にも大きなものを同様に設置する
- 機器の設置方法、操作方法は役割担当者を決め会員に教えられるようにする
- こういったクラブ員同士の役割分担が場を賑わし、継続するためには欠かせない要素

令和５年度　箱森東部シニアクラブ　活動写真

学んで・やってみたら・できました！

一緒だと・楽しい・笑いがおきます！

自分達だけでも・できる・ようになりました！

クリアする人も・出てきました！

スポーツ系もあります！

子ども達は・鬼むず・クリアします！

令和６年度　箱森東部シニアクラブ　活動写真

プレイ感覚は現実のボウリング！

いすに座りながら〝ストライク〟！

ハイスコアーも狙えます！

とにかく盛り上がります！

ストライク、スペアの度に大きな歓声が！

シニアクラブ大会でのデモンストレーション！

令和5年度採択事業
（活動期間：令和5年～令和6年）

世代間交流・地域再発見

発表内容のまとめ

川崎町曙クラブ（足利市）

事業名	持続可能な3世代コミュニケーションの提供と地域再発見
実施背景	①令和元年東日本台風で大きな被害に見舞われた ②コロナによって、会員間の交流機会が減少
実施目的	出会い・交流の場の提供による地域の連帯感の高まり
実施方法	住民同士の支え合い活動 （マルシェ・三世代交流など）を実施
実施結果	子どもたちにとっても高齢社会に対して 意識を持つ、とても良いきっかけになっている
考 察	コミュニケーションを継続して 提供できるクラブの組織強化が必要
結 論	・活動の周知により、クラブについての理解が進んでいる ・自治会や育成会からの支援もより得やすくなった ・行事の準備や参加を楽しみにする会員の意識の変化があった

①申請団体名	足利市老人クラブ連合会 川崎町曙クラブ	②分野	世代間交流 地域再発見

③事業名称	持続可能な3世代コミュニケーションの提供と地域再発見 -いつまでも笑顔でいるために!　すまいる・シェアリング KAWASAKI！-
④事業概要	【出会い・交流の場の提供で持続可能な３世代コミュニケーションを実現】 「マルシェ（青空市）」や「３世代交流」を主軸に地域への愛着心や貢献意欲を高め、付随して行う「歴史・文化などを巡る散策ウォーキング」、「ゴミステーションの見廻りパトロール」で、持続可能な３世代コミュニケーションを継続して提供できるクラブの組織強化を目指す
⑤事業目的	【出会い・交流の場の提供による地域の連帯感の高まり】 少子高齢化が進展している中、地域の人たちに向けてのコミュニケーション機会を提供することで、地域内の他の家族を含めた出会いや交流を生み出し、いざという時に一致団結する地域の連帯感を高める
⑥事業目標	【定量目標】 ・ゴミステーション見廻りパトロール　１回/月 ・文化財巡りウォーキング　１回/年 ・マルシェ　２回/年 ・３世代交流　１回/年 【定性目標】 -活動が及ぼす参加者の変化を追跡調査- 交流の場を通して、活動が参加者の心や地域への考え方を変化させる過程を、アンケートを基に変容の推移を実施前後で確認する
⑦事業の方向性	【いざという時に一致団結する風土を伝承する地域の連帯感醸成への取組】 地域のつながりが希薄になる中、〝令和元年東日本台風〟で浸水被害に遭った教訓から、今後の災害に備えるため、地域の人たちに向けてのコミュニケーション機会を提供し、地域の連帯感の醸成に取り組む

⑧事業の実行計画

単位クラブ内で下記の役割担当を決め、進捗状況を全員で共有し、
問題点を解消しながら実施する

＜マルシェ・3世代交流＞

No.	項目
1	実施方法の検討や会場の確保
2	キッチンカーの選択
3	餅つき道具・ガス器具等の提供依頼
4	チラシによる地域への周知（広報）と参加者募集
5	自治会、育成会、サロンへの協力要請
6	保健所や消防署への届け出
7	食材（もち米・焼きそば等）、食器などの調達

＜ゴミステーション見廻り・文化財巡りウォーキング・クリーン作戦＞

No.	項目
1	実施エリアの選定
2	経路・所要時間の設定
3	文化財マップをもとにしたウォーキングマップ作り
4	チラシによる地域への周知（広報）と参加者募集
5	自治会、育成会、サロンへの協力要請
6	ゴミ袋、ゴミキャッチャー等の調達

※各事業実施の２カ月前の定例会で、下記の項目について打合せを実施する
・実施スケジュール、・準備物、・役割担当、・情報発信方法、
・その他届出関係や来場者アンケート内容等
また、実施一週間前には再度定例会を行う
会場整備（花を植えたりして綺麗にする等）と準備の最終確認を実施する

⑨事業の成果と効果

【事業の成果】

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	活動に関わった団体・組織
マルシェ	○					○							川崎町曙クラブ、自治会、育成会、老人施設、障害者支援施設、学童保育施設
3世代交流									○				
ゴミステーション見廻り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	川崎町曙クラブ
散策ウォーキング												○	川崎町曙クラブ、自治会、育成会
クリーン作戦												○	

【事業の効果】

事業のアンケート内容を
ChatGPT等のAIを使用し解析

これからも継続してほしいイベントです。
できたのは良かったと思う。
まわりの方々のアドバイスも素晴らしかったです。
準備が大変ですが、大切なことです。
川崎町の伝統を守るために。

⑩今後の展開と課題（Next Step）

【今後の展開】

３世代交流は「持続可能な3世代コミュニケーションの提供と地域再発見」をテーマに行ったが、この交流会を通して地域みんなで地域のことを見つめ、地域の団結に向かう何かとても大切なものが感じ取れ、子どもたちも高齢社会に対して高い意識を持つ、とても良いきっかけにもなった

・複数あるいは地区（学区）クラブとの共同運営も視野に入れる
・リーダーの役割がより重要になるため、早めにサブリーダーの育成などにも配慮する
・地区（学区）の諸行事を通じたコミュニケーションの場を活用する

【課題】
・将来、単一クラブだけでは存続が難しくなることへの対応
・サブリーダー候補者へのアプローチ方法
・地域に溶け込むことの大切さを理解してもらう取り組み方法

⑪ここがポイント!

☆事業の開始時・展開時・拡散時に行うこと☆

【開始時】
・地域交流事業の目的を、地域の連帯感・団結力の高まりとした
・高齢者以外にも、子ども、子育て世代、その他地域資源を交えた交流の場を設定し、その場に相応しい催し物を行い、多世代を集めることを意識した
・町内の文化財を通した地域交流の必要性を発信した

【展開時】
・地域施設（障害者施設、大久保分校スタートアップミュージアム）と連携のうえ、老人クラブと自治会が協力し合い「マルシェ」、「三世代交流」を行った
・自治会や育成会からの支援もより得られやすくなった

【拡散時】
・川崎町自治会館で地域を活性化させるための意見交換会を定期的に行った
・川崎町曙クラブや自治会の役員自らが、会員の互いの成果を褒め、尊重することで、誰もがどんな意見でも出しやすい雰囲気が出来た
・活動の周知により、クラブについての理解が進み、他地区からも高評価を得た

【活動の基本】
・世代間の溝（気持ちの隔たり）をなくし、サロン会員（より若手）の意見も取り入れる

令和５年度　川崎町曙クラブ　活動写真

マルシェで・３世代・輪投げ！

誰もが・気軽に・交流！

綿密な・企画・打合せ！

川崎町の歴史講座×育成会＝３世代交流！

世代を超えて・ふるさと・レシピ！

世代を超えて・こころに響く・餅つき！

令和６年度　川崎町曙クラブ　活動写真

マルシェは4月と９月に開催！

地元の方が自作した懐かしい発動機も展示！

笑いが絶えないポップコーンコーナー！

世代を超えて気軽に話ができる間柄です！

クリーン作戦を兼ねた町内の歴史散策！

歴史散策のゴールは母校の小学校！

令和４年度採択事業
（活動期間：令和4年～令和5年）
その後の活動トピック

詳細な活動報告書は、とちぎ生涯現役シニア応援センター「ぷらっと」のホームページから、PDFファイルをダウンロードできます。

https://www.senior-ouen-p.ne.jp/genki/

高齢者福祉・健康づくり

真岡市老人クラブ連合会
大谷福寿会

- 活動が認められ表彰状が授与
  健康長寿とちぎづくり表彰健康応援部門で優秀賞

- 他地区で出前講座を開催
  高齢者だけでなく多世代を対象に健康ゲームを開催

- 新たにモルックを開始
  活動の魅力づくりと引きこもり防止を目的に開始

大谷福寿会　活動写真

健康づくりに〝おてっちゃゲーム〟！

体も心も元気アップ！

大谷福寿会考案〝おてっちゃゲーム〟得点表！

輪投げも盛んです！

出前講座も行いました!

〝モルック〟も始めました！

地域交流・担い手づくり

那須烏山市いきいきクラブ連合会
日野町いきいきクラブ

- 地域行事、共同作業等の継続
  三世代交流事業（日野町餅つき大会等）を継続実施

- 近隣老人クラブとの交流会実施
  大木須地区と新たな活動につながる情報交換会を実施

- 関係団体と連携し組織的に活動
  自治会、子ども育成会等と連携し財源確保への取組を実施

日野町いきいきクラブ　活動写真

均一に蒸気が当たるように何度か下段と上段を入替え!

最初は体重をかけて杵でぐいぐいと！

豆餅の型枠に樋を使います！

地域活性化について他地区クラブと意見交換！

意見交換会は興味ある話題がつぎつぎと！

大木須を愛する会のみなさんと！

居場所づくり・地域交流

日光市老人クラブ連合会
日光地区連絡協議会

- 人が集まることの楽しさが定着
  確実にできる行事（柿餅、餅つき大会等）づくりを継続

- 近隣地区で「集いの場」が生まれた
  西小来川の健康教室開催等、南小来川でも会員が増加した

- モデル事業活動報告会を継続実施
  日光市老連リーダー研修会で成果報告を実施

日光地区連絡協議会　活動写真

その後のモデル事業の活動報告がありました！

日光明峰高校、愛晃の杜との交流会の報告も!

建設的な意見も積極的に出ていました！

〝スカットボール〟を始めました！

合の手もリズム良く“豆餅づくり”を行いました！

豆餅のパック詰めも和気あいあいと手際よく！

伝統文化継承・地域づくり

小山市老人クラブ連合会（思桜会）
喜沢中部喜楽会

- 地域イベントに継続参加
  桑の葉入りたこ焼きブースは毎回早期完売の人気

- 桑の葉パウダーを商品化
  桑の葉文化伝承と高齢者の雇用創出を目的に商品化

- 他市町老連から視察を受けた
  芳賀町、栃木市、足利市老連からの視察を兼ねた交流会実施

喜沢中部喜楽会　活動写真

６月度　芳賀町シニアクラブ連合会との交流会！

６月度　桑の葉商品化と加工所開設を祝って乾杯!

10月度　下都賀地域食材提案会でPR!

10月度　とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会との交流会！

11月度　桑の葉ブースはいつも大人気!

２月度　足利市シニアクラブ連合会との交流会！

世代間交流復活・地域貢献

芳賀町シニアクラブ連合会

- 活動の打合せの場づくりを継続
  活動目的の共有、関係者間での交流を深めることが必要
- 学童と単位クラブ間の関係性構築
  自主的に活動できるように活動の周知を繰り返し行った
- 会員の得意な事で地域貢献
  得意な事が次世代育成に関わる充実感を持つことが必要

芳賀町シニアクラブ連合会　活動写真

子どもたちとの関わり方が深まってきました！

お互いに遠慮しない関係性が出来てきました！

重い花壇も力を合わせてリズム良く！

楽しいことってお互いの世界が広がります！

グラウンドゴルフも子どもたちに好評！

これからも長期休み中の学童訪問を続けます！

とちぎ
生涯現役シニア応援センター ぷらっと

掲載事例に関する連絡先
とちぎ生涯現役シニア応援センターぷらっと
TEL 028-623-1291　担当：岡田
栃木県宇都宮市駒生町3337-1
とちぎ健康の森2階
E-mail：shougaigeneki-p@tochigirouren.or.jp